「子どもの成長を願い、家庭・地域と協働する学校」

・子どもが「通って楽しい」学校
・保護者が「通わせて安心な」学校
・教職員が「働きがいのある」学校
・統廃合後も「地域の誇りとなる」学校

(1) 組織として機能する学校　― チーム学校をめざして ―
○ ＰＤＣＡが機能する効果的な教育活動を展開する。
○ 学校全体の目標と学級・個人の目標との整合性を図り、ベクトルを合わせた教育活動を展開する。
○ 報告・連絡・相談を徹底する。

(2) 豊かな感性と学力を育む活力ある学校
○「R6 元小授業スタンダード」に基づいた授業づくりを通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。
○ 個に応じた教育活動を行う。
（ICT の活用、個に応じた手立て、一人学級における学習形態の工夫）
○ 道徳教育を推進する。
○ 地域人材等を積極的に活用し、体験活動を充実させる。
○ キャリア教育を推進する。
○ 教職員研修を充実させる。

(3) 学び合いのある学校
○ 互いに切磋琢磨し、児童も教職員もともに向上心をもつ。

(4) 家庭・地域と協働する学校　― より確かな絆を ―
○ 地域の環境や教育ボランティアの積極的な活用を図り、体験的な活動を進める。
○ 保護者や地域の人たちと心が通い合う学校づくりを進める。

(5) 安全で安心な学校　― 子どもに目を向け、子どもが安心できる学校 ―
○ 全教職員が危機管理意識をもち、適切な行動がとれるようにする。
○ 日常のけがや事故に対して、校内での連絡・報告や家庭への適切な対応を行う。
○ 健康・安全教育を徹底し、命の大切さや健康の保持・増進、事故防止の能力及び態度の育成に努める。

(6) 挨拶が広がり、温かな言葉を実感し合える学校
○「あいさつ運動」を推進する。
○適切な言葉づかいや場に応じたコミュニケーションができるようにする。

(7) 信頼される開かれた学校
○教員としての職責の重要性を自覚し、自らを律し高め、研修・研鑽に努める。
○服務規律の遵守に努める。
○定期的に学校評価を行い、学校改善に努める。

５．めざす教師像

「子どもの笑顔のために、前向きに取り組む教師」

(1) 子どもの立場で、物事を見ることができる教師
(2) 子どもの個性や能力を見つけ、伸ばそうとする教師
(3) 向上心をもち、自己の力を伸ばそうとする教師